ユニバーサル・コンロ

SG-2

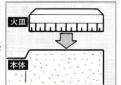
の商品

設置上の注意

- ①当器具銘板の表示ガス(ガスグループ)とご使用になるガスと同一 であることをご確認の上、設置して下さい。
 - 注1 銘板は器具の混合管部分に貼付してあります。

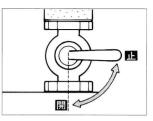
 - ① 注2
 ガス種が異なる時は、ご使用にならずに器具をお取替え下さい。
 ① 注3
 プロバンガス (LP) ご使用の時は、ガス圧表示(注1)に従って低圧の範囲内にてご使用下さい。
- ②壁等が可燃性の場合(断熱材使用の場合も)周囲の可燃物より20cm 以上離して設置して下さい。
- ③床面は不燃構造とすること。
- ④ゴム管の接続は正しく奥まで差込み、ゴム管止めにてシッカリ固 定して下さい。
 - 注1 『JISマーク』のゴム管(ガス用)をご使用下さい。
 - 注2 折れやねじれ、引っ張り等ないよう必要限度の長さでご使用下さい。
 - 注3 ゴム管の太さは、器具ゴム管口の太さと同一のものをご使用下さい。
- ⑤バーナー本体が金枠に正しくセットされているかご確認下さい。

 - 注2 火皿は歯型状の切り込み目のある方を下側にして、パーナー本体にセットするのが正しいセット方法です。

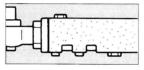


使用上の注意

- ①ご使用前の確認と準備を正しく 行って下さい。
 - 注1 バーナー本体、火皿が正しくセットされているかご確 認下さい。
 - 注2 ゴム管の接続状態に異常がないかご確認下さい。
 - 注3 器具のガスコックが閉じていることを確認の上、元コックを開けて下さい。



- ②点火はマッチ等で、パイロットバーナー(種火)に点火してから、 メインバーナーに着火させて下さい。
- 注1 メインバーナーへの着火時は調理に使用する鍋等を載せて行って下さい。
- 注2 初めて使用する時、しばらく使用しなかった時等にはゴム管内の空気が入っておりますので、空気抜きの為に点火装作を繰返 して下さい。
- 注3 コンロ型での使用寸胴鍋寸法はゴトク外径寸法プラス30mmまでの鍋をご使用下さい。
- ③空気調整は固定式ですので、日常の空気調整は行えません。 従って最初の器具設置時に点火テストを行って下さい。
 - 注1 炎が飛んで着火しにくい場合や、炎の先端に黄色の炎がでる時は、バーナー混合管下側のネジをゆるめ、前後に調整した上で、ネジで固定して下さい。



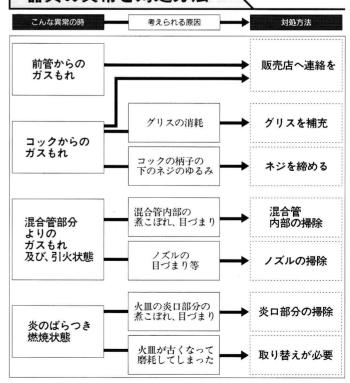
サントクの商品は業務用として設計されておりますので 普通の家庭用コンロより火力が強力です!!この事を常に 意識していただき、調理中にその場を離れたり、お子様 に使用させたりするのは危険ですので止めて下さい。

- 炎の状態に変化が起きてきた時は「点検・お手入 ④日常使用時に、 れの注意」に従って、点検・お手入れを行って下さい。
- ⑤ご使用中は、危険ですので器具のそばを離れないで下さい。
- ⑥ご使用中、及び直後は器具の温度が高くなりますので、ガスコッ ク以外は触れないで下さい。
- ⑦狭い部屋、締め切った部屋でのご使用や長時間のご使用時には必ず部屋の換気が必要です。時々窓を開けたり、換気扇を回して換気を行って下さい。尚、窓のない部屋には必ず換気口を設けて下
- ◎消火時はバーナーコックを完全に閉じ、必ず消火を確認し、使用後は必ずガスの元コックも閉めて下さい。

日常の点検・お手入れの注意

- ①点検・お手入れは、器具が充分に冷えてから行って下さい。
- ②点検・お手入れは、定期的に行って下さい。
 - 注1 火皿部分のお手入れ 一週間に一回くらい
 - 注2 混合管部分、ノズルのお手入れ 三ヵ月に一回くらい
- ③ゴム管が古くなってひび割れたり、折れ曲がったり、器具に触れていたりしていないか。元コックやゴム管口に充分に差込まれているか、時折点検して下さい。

器具の異常と対処方法



こ使用中にご不審な点がございましたら直ちに使用を 中止し、点検をしていただいた上で、販売店か当社ま でご連絡下さい。